

# 南檜山圏域における重点的な取組について

## 1 当部会の取組方針

「10年後、20年後を見据えた健康づくり」  
～若い世代（小中学生～親世代）、働く世代（40代）へのアプローチ～

## 2 目的・課題・目標

### （1）目的

各町、医療機関、関係団体、保健所等の相互の連携体制強化により、若い世代（小・中学生～親世代）及び働く世代（～40代）に対する生活習慣改善（特に減塩）の普及啓発を進め、生活習慣病（糖尿病、高血圧）の発症予防・重症化予防を図る。

## (2) 課題

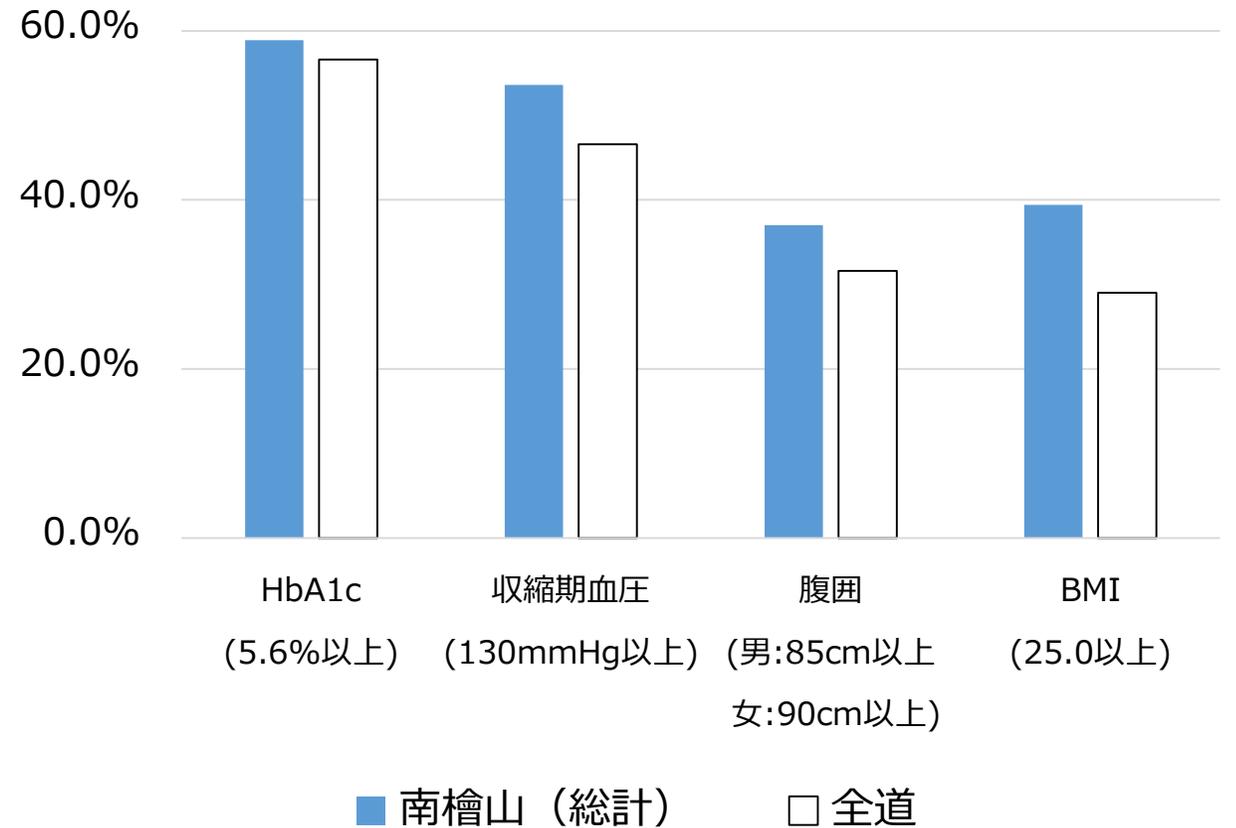
### 【課題1】健康課題

- ・右のグラフにある各項目の健診有所見者率が全道より高い。

### 【課題2】連携体制

- ・若い世代（小中学生～親世代）及び働く世代（～40代）へのアプローチを図るため、連携強化が必要。
- ・糖尿病（重症化）リスクがある者に対する支援において、更なる連携強化が必要。

特定健康診査結果（有所見者割合）



## (3) 目標

働く世代（～40代）へのアプローチ

小中学生～親世代へのアプローチ

糖尿病対策の強化

# 【当部会の目的・課題・目標（令和3年度～令和5年度）】

## 目的

各町、医療機関、関係団体、保健所等の相互の連携体制強化（情報共有、検討、実施）により、若い世代（小・中学生～親世代）及び働く世代（～40代）に対する生活習慣改善（特に減塩）の重要性について普及啓発を進め、生活習慣病（糖尿病、高血圧）の発症予防・重症化予防を図る。

## 課題

### 【課題1】～健康課題～

- 糖尿病リスク因子であるHbA1cの健診有所見者率が全道より高い。
- 収縮期血圧の健診有所見者率が全道より高い。
- 腹囲、BMIの健診有所見者率が全道より高い。小・中学生においても肥満傾向がみられる。

### 【課題2】～連携体制～

- 若い世代（小・中学生～親世代）及び働く世代（～40代）の生活習慣病予防を図るため、各関係機関（町、医療機関、教育、職域、保健所の連携強化（情報共有、検討、実施）が必要。
- 糖尿病（重症化）リスクがある者に対する支援において、更なる連携強化（南檜山糖尿病重症化予防プロジェクトの再周知、活用促進、指導のブラッシュアップ）が必要。

## 目標

### 【目標1】

- 職域団体、各町、医療機関、関係団体、保健所が連携を強化（情報共有、課題の明確化、取組の検討、実施）し、働く世代（～40代）に対する生活習慣病対策（糖尿病、高血圧〈減塩〉）に向けた取組の推進を図る。

### 【目標2】

- 教育局、教育委員会、学校（養護教諭、栄養教諭）、各町、保健所が連携を強化（情報共有、課題の明確化、検討、実施）し、生活習慣改善（減塩）に向けた取組を一体的に推進することで、小・中学生～親世代に対する減塩の意識付け・行動変容へアプローチする。

### 【目標3】

- 糖尿病（重症化）リスク者を適切なタイミングで拾い上げ、必要な支援を実施することができる。
- 治療効果を高めるため、減塩指導を強化（対象者の食塩摂取状況の確認、指導媒体の作成等）する。